



ホイールユーザーマニュアル



OGDEN, UT 84401 | ENVE.COM

diatec Ltd.

マウンテンホイール

- チューブレスキット1点 - ロールテープ1点、チューブレスバルブシステム2点、バルブコアアルミバー1点

安全性

ホイールの耐用年数を最大限に延ばし、エンヴィ製品を最適にお使いいただくため、以下の説明をしっかりと読みこらに読んでください。

以下に記載された説明やヒントはエンヴィ製ホイール固有のもので、ライディングの経験年数にかかわらずご使用前には必ずお読みいただく必要があります。

本マニュアルをお読みいただいた上で質問のある方は、エンヴィ販売店または、ダイアテックお客様サポート室までお問い合わせください。

www.diatechproducts.com/support/index.html

▲ライダーへの警告：

自転車のライディングは本質的に危険であり、ライダーは怪我や死亡の不可避的なリスクを含む多くの危険にさらされています。専門的なツールに精通した熟練の自転車整備士以外の方は、すべての取り付けおよびサービスをエンヴィの認定販売店または大手自転車販売店にご依頼いただくことが強く推奨されます。エンヴィでは、非常

に限定的な用途に対しホイールの設計、テスト、認定を行っています。交換時は必ずエンヴィの純正交換部品をご利用ください。自転車は摩耗や強度の圧力にさらされているため、部品の設計寿命が過ぎると突然不具合が生じ、ライダーの怪我につながるおそれがあります。部品に亀裂や傷、変色が認められる場合は、その部品が過剰な圧力にさらされ、交換が必要であることを示している可能性があります。ホイールを本来の用途に反したかたちで使用する行為は軽率であり、ホイールの故障または怪我、死亡につながるおそれがあります。

ライディングの前に：

アクスル、ドロップアウト、クイックリリース機構が清潔で、泥やその他の異物が付着していないことを確認してください。クイックリリースまたはスルーアクスルホイール固定装置がしっかりと固定されていることを確認します。クイックリリースをロック位置にセットすると、ドロップアウトが突き出すかたちになります。クイックリリースまたはスルーアクスルが正しく取り付けられているか不明な場合は、販売店にご相談ください。

- スポークの張力と損傷の有無を確認します。スポークに緩みや損傷が見られる場合は、エンヴィの認定販売店に連絡してホイールの整備を依頼してください。

- ブレーキが正しく接続され、かつ正しく機能していることを確認します。これには、パッドとリムブレーキ対応ホイールのリムのブレーキ面の位置が揃っているか、およびパッドがローターに接触しておりディスクブレーキ対応セットアップに過剰な摩耗の兆候が見られないかの確認が含まれます。

- エンヴィ製のブレーキパッドを取り付けるか、お近くの販売店に取り付けを依頼してください。これは、最高のブレーキ性能を提供するため最適化されたパッドです。エンヴィの生涯ロイヤリティ保証を受けるには、このパッドをご利用いただくことが条件となります。交換パッドは、お近くの販売店でお求めいただけます。

各シーズンの初め、または以下の場合にブレーキパッドを交換してください。

- 不均一な摩耗の兆候が見られた場合。

- 摩耗のレベルが摩耗インジケータラインを超えている場合。
- 汚れが付着した場合。汚れには砂や泥、オイル、合金リムの使用に伴う合金粒子が含まれますが、これらに限定されません。

▲技術面での注記：

フルカーボンブレーキ面の損傷を防ぐため、ブレーキパッドに汚れがないか定期的に点検してください。パッドのグレイジングやブレーキ力の低下を防ぐため、パッドとリムは常に清潔な状態に保つようご注意ください。

スポークの推奨張力：

フロントリムブレーキ 90kgf
フロントディスクブレーキ側 120kgf
フロントディスク反ブレーキ側：ディッシュに必要な張力
リアフリー側 120kgf
リア反フリー側：ディッシュに必要な張力

推奨タイヤサイズ：

お使いのホイールセットに適した最新の推奨タイヤサイズについては、www.ENVE.com/supportをご覧ください。

お使いのホイールセットに適した最新の最低/推奨/最高タイヤ圧については、www.ENVE.com/supportをご覧ください。

エンヴィ製ブレーキパッドの取り付け

必要なツール：

- 2mmまたは2.5mmの六角レンチ
- ラジオペンチ(オプション)

パッドが自転車の前方に向かってスライドする場合、ブレーキパッドキャリアが正しく取り付けられていません。自転車の後方に向かって押し/引いた場合にのみパッドを取り外せるよう、パッドキャリアの向きを変えてください。この取り付け作業を正しく実行できる自信がない場合は、お近くの自転車販売店に取り付けを依頼してください。

▲エンヴィ製のブレーキパッドを使用しなかった場合、保証は無効となります。

シマノ/SRAMスタイルのブラックブレーキパッドの取り付け

- ホイールを取り外した状態で作業を行えるよう、可能な場合は自転車をバイクスタンドに設置します。
- 六角レンチを使って4つすべてのパッドキャリアから止めねじを取り外します。紛失や落下を防ぐため、ねじを安全な場所に置きます。

3. 自転車の後方に向けてパッドをスライドさせ、外します。指で外れない場合はラジオペンチを使用してください。

4. それぞれのパッドを対応するキャリアに取り付けます。それぞれのパッドには「Left(左)」または「Right(右)」のラベルと、パッドの取付方向を示す矢印が付けられています。

5. それぞれの止めねじを交換し、メーカー仕様に従って締めます。

カンパニョーロスタイルのブレーキパッドの取り付け

1. ホイールを取り外した状態で作業を行えるよう、可能な場合は自転車をバイクスタンドに設置します。

2. 2011年以降、カンパニョーロ製のブレーキパッドキャリアには、2011年より前のモデルには使用されていない固定クリップが装着されています。パッドを取り外すには、固定タブを持ち上げ自転車の後方に向かってパッドを引っ張り、固定タブをパッドのくぼみから外してブレーキパッドを完全に取り外します。

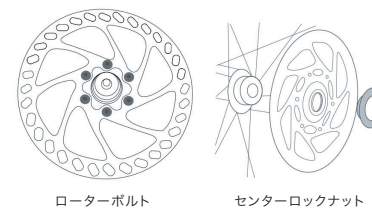
3. それぞれのパッドを対応するキャリアに取り付けます。それぞれのパッドには「Left(左)」または「Right(右)」のラベルと、パッドの取付方向を示す矢印が付けられています。

4. 固定クリップがブレーキパッドのくぼみにはまっていることを確認します。

ディスクブレーキ付きホイールの使用

ディスクブレーキ付きホイールでは、ブレーキローターアタッチメントが適切に締められていることを確認してください。

- ローターのボルトを5~6.2Nmのトルクで締めます
- センターロックナットを40.2Nmのトルクで締めます



ディスクブレーキ付きホイールでは、ブレーキローターアタッチメントが適切に締められていることを確認してください。

- ローターのボルトを5~6.2Nmのトルクで締めます
- センターロックナットを40.2Nmのトルクで締めます

エンヴィバルブエクステンダーの取り付け - ロード専用

バルブエクステンダーの取付方法を説明した動画は、以下をご覧ください。

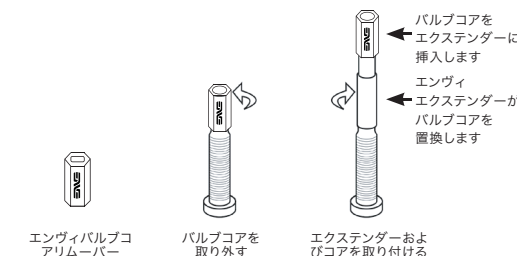
<https://vimeo.com/envecomposites/valve-stem-extension-installation>

バルブエクステンダーの取付方法を説明した動画は、以下をご覧ください。

必要なツール：

- 5mmのオープンエンドレンチまたはエンヴィバルブコアアルミバー、ラジオペンチ

注記：チューブまたはチューブラーを取り付ける前に、バルブエクステンダーを取り付けてください。インナーチューブおよびチューブラーには、取り外し可能なバルブコアが備わっている必要があります。



- 5mmのオープンエンドレンチまたはエンヴィバルブコアリムーバー、ラジオペンチを使って、チューブラーのステムからバルブコアを取り外します。
- バルブコアを取り外したところに、エンヴィバルブエクステンダーを装着して指で締め、上記のいずれかのツールを使ってさらに1/4回転から半回転締めます。
- エンヴィバルブエクステンダーの反対側の端部に交換用のバルブコアを取り付けます。
- もう一方のチューブ/チューブラーで同じ手順を繰り返します。

エンヴィクリンチャータイヤの取り付け (SES 4.5クリンチャー専用)

(他のSESホイールについては、チューブレスの取り付けを参照してください)

取付方法を説明した動画と手順については、以下をご覧ください。
www.enve.com/installation以下は、新品のエンヴィカーボンクリンチャーリムへのクリンチャータイヤの取り付け方法を簡単に説明したものです。

バルブエクステンダーの取付方法を説明した動画は、以下をご覧ください。

リムストリップの取り付け

注記：必ずエンヴィ製のリムストリップを使用してください。Velox®またはこれと同等の厚みを持つ布テープを使うと、タイヤの取り付けがより困難となるため、推奨されません。

- リム内のバルブシステム穴の位置を確認し、これをエンヴィ製リムストリップの穴の位置に合わせます。
- エンヴィのロゴが上を向いた状態で、リムストリップを伸ばしてリムに貼り付けます。
- リムの全周を点検し、リムストリップがリムの中央にきていること、しわや折り目が付いていないこと、すべてのスポーク穴が覆われていることを確認します。

タイヤの取り付け

- タイヤメーカーが推奨する回転方向を確認します。方向が定められていないタイヤもありますが、通常はタイヤのサイドウォールに正しい回転方向を示す矢印が記されています。
- タイヤのロゴとリムのバルブシステム穴の位置を合わせるかたちで、手作業でタイヤビードの片側をリムに取り付けます。

5

- インナーチューブが軽く膨らむ程度に空気を入れます。
- チューブのバルブシステムをリムのバルブシステム穴に取り付け、チューブをリムとタイヤの間に取り付けます。この際、チューブがねじれたり折れたりしないよう注意してください。
- チューブがリムとタイヤビードの間に挟まれないよう注意しながら、もう一方のタイヤビードをリムに取り付けます。

注記：

タイヤの取り付け/取り外しを行う場合、タイヤレバーの使用はお勧めしません。しかし、場合によってはタイヤレバーの使用が必要となることもあるかと思えます。タイヤレバーを使用する場合は必ずプラスチック製のレバーを使用し、取付作業中にインナーチューブを挟まないようご注意ください。



リムに最初のビードを装着します。



インナーチューブをチャネルに押し込みます。



タイヤとリムの間にインナーチューブが挟まらないようにしてください。



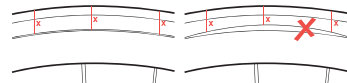
リムにもう一方のビードを装着します。

技術面での注記：

タイヤビードのもう一方の側を完全に取り付けづらい場合は、バルブシステム周辺のチューブがタイヤビードの下に挟まれているか、またタイヤビードがアウトエッジに引っかかっているか確認してください。これらの問題が確認された場合は、バルブシステムをタイヤに向かって押し込み、ビードの取り付けを再度行ってください。

- 空気圧が20~30psiになるまでタイヤに空気を入れ、ビードがきちんと取まっておりチューブがはみ出していないことを確認します。チューブがはみ出ている場合はこれを修正します。

- タイヤの最高圧まで空気を入れます。ホイールを回転させた場合、タイヤが跳ねたり左右にブレたりしないことを確認します。



適切な取り付け

不適切な取り付け。タイヤビードが所定の位置にはまっていません。

6

エンヴィチューブラータイヤの取り付け

チューブラータイヤの接着は手順を熟知した人物が行うべきもので、正しく行った場合作業には2~3日かかります。この作業は、チューブラーの接着に精通した経験豊富な自転車整備士に依頼することが強く推奨されます。以下は、新品のエンヴィカーボンチューブラーリムへのチューブラータイヤの取付方法を簡単に説明したものです。接着剤によっては手順が以下と異なる場合があるため、必ず接着剤メーカーの指示に従ってください。

注記：

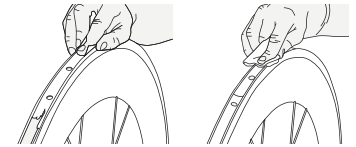
エンヴィリムからチューブラータイヤを取り外す場合は、ゆっくりと慎重に作業してください。注意を怠り急いで取り外すと、リムが損傷するおそれがあります。

- ホイールを支えるためのトゥルーイングスタンド
- 布
- アルコールまたはアセトン(デカールに触れると剥がれるためご注意ください)
- 耐酸性ブラシ
- ラテックス手袋

- フロアポンプ
- 研磨パッド(スコッチ・ブライト)または#120のサンドペーパー
- チューブラー接着剤

接着を行う前に：
所要時間 - 15分

- エンヴィリムに付属のバルブエクステンダーをチューブラーに取り付けます(該当する場合)。
- 粒度が#120以下のサンドペーパーまたは研磨パッドを使って、リムのタイヤベッドのクリーニングを行います。バルブ穴から開始し、リムのタイヤベッド表面全体を磨きます。布にアセトンを含ませ、布に研磨くずが付着しなくなるまでタイヤベッド表面を清掃します。



7

注記：アセトンでデカールが損傷するおそれがあります。

リムの接着を行う前にタイヤをリムに装着してストレッチさせ、またタイヤが正しくフィットすることを確認してください。取り付けが完了したら、最大定格圧力の10~20psiまで空気を入れます。

技術面での注記：

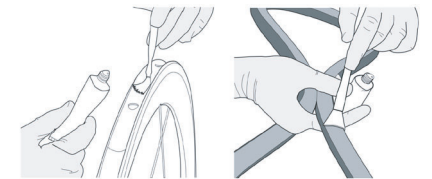
この機会を利用して、リムへのチューブラー装着に慣れておいてください。接着剤を使用する前に、何回か装着の練習を行います。リムとチューブラーに接着剤を塗布した後は、やり直しは不可能です。

当社では最低12~24時間のストレッチ時間を推奨していますが、具体的な推奨時間についてはメーカーの指示を参照してください。

チューブラータイヤの接着：

取付方法を説明した動画と手順については、以下をご覧ください。
www.enve.com/installation

所要時間 - 通常、ライディングを開始するまで72時間
ステップ1 - 合計所要時間 - 12時間



8

- ホコリがなく換気の良い場所にリムとチューブラーを置いて乾かします。
- 適切な乾燥時間については接着剤メーカーの指示を参照してください。

ステップ2 - メーカーの指示に従って接着剤を乾かしたら、ステップ1を繰り返します。

ステップ3 - ステップ2を繰り返して取り付けを行います。

合計所要時間 - 12時間

- リムとチューブラーに3回目(最後)の接着剤を塗布したら、チューブラーをリムに取り付けることができます。リムにチューブラーを装着した後は、数分間待ってからタイヤを取り付けてください。
- 技術面での注記: 接着剤によっては、3回目(最後)の塗布はリムのみに行うよう推奨されている場合もあります。接着効果を最大限に高めるため、接着剤メーカーの指示に従ってください。
- チューブラーの空気を抜き、リムをトゥルーイングスタンドから取り外します。

9

- 清潔かつ滑りにくい場所に立ち、両足の間にリムを挟んで固定します。足の下に清潔なダンボール紙を敷くと効果的です。
- リムのバルブシステム穴にバルブシステムを通し、強く押し下げます。
- バルブシステムの右側と左側でタイヤを掴み、その後床面に向かって徐々にタイヤをリムにはめ込んでいきます。
- 床面に到達したらホイールを持ち上げ、親指を使って残りのタイヤをリムにスライドさせます。
- ここで、タイヤがリムの中央に装着されていることを簡単に確認します。
- タイヤが軽く膨らむ程度に空気を入れ、リムの左右両面でベーステープが同じ分量見えていることを確認します。
- 空気圧が50 psi (3.4 bar)になるまでタイヤを膨らませ、トゥルーイングスタンドに設置します。タイヤをゆっくりと回転させ、左右にブレることがないか確認します。ブレが見られる場合は、タイヤの空気をわずかに抜き、チューブラーが完全に中央に収まりリムの左右両面でベーステープ

プが同じ分量見えるようになるまでタイヤをずらしします。必要に応じて、このステップを繰り返します。

- タイヤの推奨圧力まで空気を入れます。
- アセトンを含ませた布を使って、リムとブレーキ面から余剰な接着剤を拭き取ります。
- 接着剤を24時間乾燥させてからライディングを開始してください。
- 24時間が経過したら、フロントおよびリアホイールでタイヤが正しく装着されていることを確認します。これを確認するには、タイヤを両手で掴み、適度の力を加えてタイヤがリムから外れるかどうか試します。タイヤがリムから外れなければ、これで作業は完了です!

ロードチューブレスキットおよびタイヤの取り付け

取付方法を説明した動画と手順については、以下をご覧ください。
www.enve.com/installation

必要なツール

- エンヴィチューブレスキット (バルブエクステンダー2点、テープロール1点)

10

リムの準備:

- アセトンを含ませた布を使って、リムのタイヤベッド表面からグリースや異物を拭き取ります。

エンヴィチューブレスキットの取り付け

- アセトンまたはアルコールを使って、インナーリムチャンネルのカーボン表面を徹底的に清掃します。
 - テープの貼付は、リムのタイヤベッドのうち、バルブシステム穴に続く1つ目のスポークホールを塞ぐ位置から開始し、ここからバルブシステム穴に向かって進みます。
 - テープがローワーリムチャンネルに密着するよう、十分な張力を持たせた状態で貼付を行います。テープの損傷を防ぐため、直接押さえず指で素手を使用しないようにしてください。
- 必要なツール技術面での注記:**
手首を前後にわずかに動かすだけで、テープをリムに密着させることができます。
- テープをもう一周させ、開始点を越えて5~8cm (2~3インチ)の位置までテープを重ねます。このとき、重複部がバルブシステム穴を覆っているはずですが。

技術面での注記:

リム上のバルブシステム穴から180°の位置にあるレインフォースメント (補強部) が、テープにより完全に覆われている必要があります。

リム上のバルブシステム穴から180°の位置にあるレインフォースメント (補強部) が、テープにより完全に覆われている必要があります。

- バルブコアを締めたバルブシステムをバルブシステム穴の位置に押し込んでテープを貫通させ、リムチャンネルの形状にフィットするようにしっかりと装着させます。バルブシステムにゴム製のOリングを取り付け、リムとOリングを挟むかたちでロックリングを装着し指で締めます。
- タイヤを装着し、ビードが所定の位置にはまるまで空気を入れます。これで、テープをリムベッドに完全に密着させることができます。タイヤの空気を抜き、バルブシステムを介して、あるいはタイヤビードを開いてタイヤに直接ラテックスシーラントを注入し、希望の空気圧に調整します。

タイヤの取り付け

ロードホイールセットアップチューブレスには、必ずチューブレス承認タイヤを使用する必要があります。

11

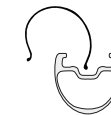
タイヤの選定について質問がある場合は、エンヴィ販売店までお問い合わせください。

- タイヤメーカーが推奨する回転方向を確認します。方向が定められていないタイヤもありますが、通常はタイヤのサイドウォールに正しい回転方向を示す矢印が記されています。
- タイヤのロゴとリムのバルブシステム穴の位置を合わせるかたちで、手作業でタイヤビードの片側をリムに取り付けます。
- バルブシステムの対極位置からもう一方の側のタイヤビードを装着し始め、リムの両側からバルブシステムに向かって徐々に作業を進めます。

技術面での注記:

ラテックスベースのシーラントはエンヴィ製ロード/マウンテンホイールに安全にお使いいただけますが、メーカーによってはタイヤへのシーラントの使用が認められない場合もあります。お使いのタイヤにシーラントを使用できるかどうか不明な場合は、タイヤのメーカーにお問い合わせください。

- タイヤビードの残りの部分をリムに挿入します。



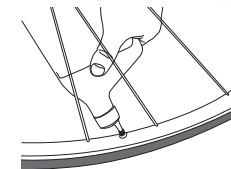
リムに最初のビードを装着します。



リムにもう一方のビードを装着します。

この作業は、ある程度の力を使って両手で行う必要があります。

- バルブ穴からコアを外し、シーラントを挿入します。



- タイヤに空気を入れ、ビードをリムに固定します。ビードがリムにはまると、カチッという音と感触を感じるはずですが。

12

▲注意：通常、タイヤに空気を充填している最中に、リムからきしむような音や亀裂音が聞こえることはありません。このような音が聞こえたら、直ちに空気の充填を中断するか、リムの空気を抜いてください。チューブレスキットの技術面での注記を参照し、リムの空洞に圧力が加わっていないことを確認してください。

7. リムの全周で、ビードシートインジケータラインがリムエッジの上に均等に表示されているかどうかチェックし、ビードが完全に装着されていることを確認します。完全に装着されていない場合は空気を抜いて再度試してください。
8. 技術面での注記：タイヤビードの装着時は、リムの最大定格圧力を絶対に超えないようにしてください。装着しづらい場合は、潤滑剤として石鹸水をビーズに適用します。

タイヤの取り外し

1. タイヤの空気を抜きます。
2. バルブシステムの対極位置で、タイヤビードの片側をリムのセンターチャンネルに向けて押し、ビードを外します。この際プラスチック製のタイヤレバーが必要になるかもしれませんが、タイヤレバーを使用する前に、ビードが完全に緩みセンター

チャンネルに取まっていることを確認してください。

3. 反対側のビードで作業を繰り返します。

マウンテンチューブレスキットおよびタイヤの取り付け

マウンテンチューブレスの取付方法を説明した動画は、<https://vimeo.com/envecomposites/mountain-tubeless-install> をご覧ください。

必要なツール

- ・ エンヴィチューブレスキット (バルブエクステンダー2点、テーパーロール1点)

▲注意：この警告に従わない場合、リムの空洞が加圧状態となり、サイドウォールが剥離する恐れがあります。

空気を充填中にリムのバルブシステム用ポートやウィーブホールから空気が漏れる場合は、バルブシステムの装着が不十分であるか、チューブレステープシステムの破損が考えられます。リムチャンネルにしっかりと装着されるまでバルブシステムを強く押し下げ、所定の位置に完全に取まっていることを確認してください。バルブシステムに圧力を加え、指でバルブを締め付けます。ナットの締め付けにペンチを使用しないでください。テープに亀裂や穴、接着不良がないかどうかを点検します。点検してタイヤを取り付けた後、リムのバルブシステムから空気が漏れ続けている場

13

合は、タイヤ、テープを順に取り外し、リムをイソプロピルアルコールで拭いてからテープを再度取り付けます。本マニュアルに記載の手順に従ってタイヤを装着します。

- ・ はさみ
- ・ フロアポンプ
- ・ プラスチック製タイヤレバー (オプション)
- ・ タイヤシーラント
- ・ アルコールまたはアセトン
- ・ 布

リムの準備:

- ・ アセトンを含ませた布を使って、リムのタイヤベッド表面からグリースや異物を拭き取ります。

エンヴィチューブレスキットの取り付け

1. アセトンまたはアルコールを使って、インナーリムチャンネルのカパーン表面を徹底的に清掃します。
2. テープの貼付は、リムのタイヤベッドのうち、バルブシステム穴に続く1つ目のスポークホールを塞ぐ位置から開始し、ここからバルブシステム穴に向かって進みます。

3. テープがローワーリムチャンネルに密着するよう、十分な張力を持たせた状態で貼付を行います。テープの損傷を防ぐため、直接押さえつけたり素手を使用しないようにしてください。

技術面での注記:

手首を前後にわずかに動かすだけで、テープをリムに密着させることができます。

4. 開始点を超えて5~8cm (2~3インチ) の位置までテープを重ねます。このとき、重複部がバルブシステム穴を覆っているはずです。

技術面での注記:

リム上のバルブシステム穴から180°の位置にあるレインフォースメント (補強部) が、テープにより完全に覆われている必要があります。

5. バルブコアを締めたバルブシステムをバルブシステム穴の位置に押し込んでテープを貫通させ、リムチャンネルの形状にフィットするようにしっかりと装着させます。バルブシステムにゴム製のOリングを取り付け、リムとOリングを挟むかたちでロックリングを装着し指で締めます。

6. タイヤを装着し、ビードが所定の位置にはまるまで空気を入れます。これで、テープをリムベッドに完全に密着させることができます。タイヤの空気を抜き、バルブシステムを介して、あるいは

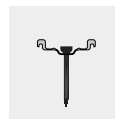
14

ステムを介して、あるいはタイヤビードを開いてタイヤに直接ラテックスシーラントを注入し、希望の空気圧に調整します。

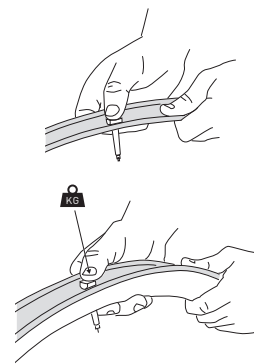
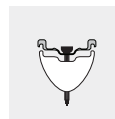
保護リムストリップの取り付け

M730、M735、M735E、M930シリーズのホイール

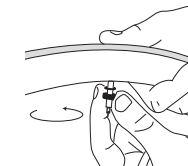
1



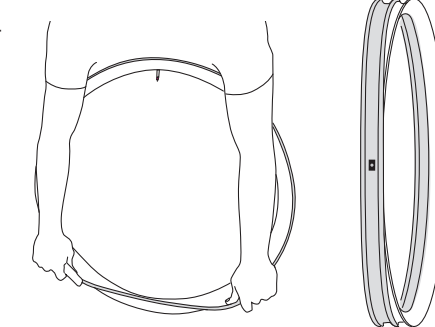
2



3

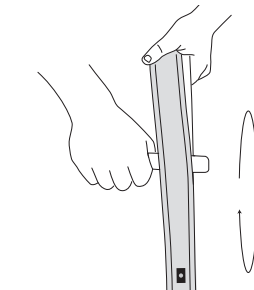
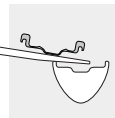


4

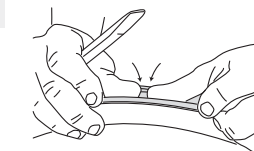
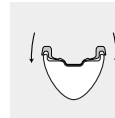


15

5



6



タイヤの取り付け

技術面での注記:

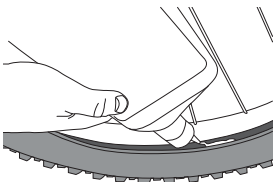
エンヴィ製マウンテンリムは、チューブレスマウンテンタイヤの基準に基づいて設計されています。チューブレスの性能を最大限に高めるため、必ずチューブレス対応タイヤを使用してください。タイヤの選定について質問がある場合は、エンヴィ販売店までお問い合わせください。

1. タイヤメーカーが推奨する回転方向を確認します。方向が定められていないタイヤもありますが、通常はタイヤのサイドウォールに正しい回転方向を示す矢印が記されています。
2. タイヤのロゴとリムのバルブシステム穴の位置を合わせるかたちで、手作業でタイヤビードの片側をリムに取り付けます。
3. バルブシステムの対極位置からもう一方の側のタイヤビードを装着し始め、リムの両側からバルブシステムに向かって徐々に作業を進めます。タイヤシーラントを注入できるよう、タイヤビードを13~20cm (5~8インチ) ほど露出させたままにしておいてください。

16

技術面での注記：ラテックススペースのシーラントはエンヴィ製ロード/マウンテンホイールに安全にお使いいただけますが、メーカーによってはタイヤへのシーラントの使用が認められない場合もあります。お使いのタイヤにシーラントを使用できるかどうか不明な場合は、タイヤのメーカーにお問い合わせください。

4. シーラントを注入し、反対側のビードにもシーラントが行き渡るようホイールを回転させます。



5. タイヤビードの残りの部分をリムに挿入します。この作業は、ある程度の力を使って両手で行う必要があります。
6. タイヤに空気を入れ、ビードをリムに固定します。ビードがリムにはまること、カチッという音と感触を感じるはずです。

7. リムの全周で、ビードシートインジケータラインがリムエッジの上に均等に表示されているかどうかチェックし、ビードが完全に装着されていることを確認します。完全に装着されていない場合は空気を抜いて再度試してください。

技術面での注記：

タイヤビードの装着時は、リムの最大定格圧力を絶対に超えないようにしてください。装着しづらい場合は、潤滑剤として石鹸水をビーズに適用します。

タイヤの取り外し

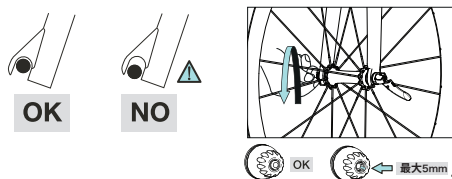
1. タイヤの空気を抜きます。
2. パルプステムの対極位置で、タイヤビードの片側をリムのセンターチャンネルに向けて押し、ビードを外します。この際プラスチック製のタイヤレバーが必要になるかもしれませんが、タイヤレバーを使用する前に、ビードが完全に緩みセンターチャンネルに取まっていることを確認してください。
3. 反対側のビードで作業を繰り返します。

チューブレスのセットアップに関し問題が発生した場合は、www.ENVE.com/supportのトラブルシューティング方法をご覧ください。

ホイールの取り付け

ライディング前の点検

1. ブレーキキャリアクイックリリース機構を締め(該当する場合)、ブレーキが正しく機能していることを確認します。ディスクブレーキを使用したマウンテンバイクの場合は、ホイールを回転させて、ローターが擦れておらず、かつブレーキが適切に機能していることを確認します。



2. フロントホイールとリアホイールの両方がフォークとフレームの中央にあることを確認します。中央からずれている場合は、クイックリリースを緩めてアクスルエンドの高さがドロップアウト内で均一であることを確認し、再び正しい張力でクイックリリースを締めます。クイックリリース固定スプリングが正しく取り付けられている(小さい方の端部が内側を向いている)ことを二

重に確認します。何度試してもホイールを中央に設置できない場合は、お近くのエンヴィ販売店またはプロの自転車整備士にご相談ください。

3. できれば自転車をスタンドに設置した、あるいは自転車のリアエンド部を持ち上げた状態でギアをシフトさせ、システムが正しく機能していること、リアディレイラーがスポークに接触していないこと、ホイールが正しく回転することを確認します。

一般的なお手入れとメンテナンス

- ・ エンヴィホイールの洗浄には、石鹸と水を使用してください。
- ・ ホイールは乾燥した場所に保管してください。
- ・ ホイールは直射日光の当たらない場所に保管してください。UVに長期間さらすと、リムが変色するおそれがあります。
- ・ リムからチューブラーの接着剤を除去するには、アルコールまたはアセトンを使用してください。

注記：

アセトンがデカールに付着するとデカールが損傷するため注意してください。

- ・ 定期的にホイールセットの点検を行い、スポーク張力や縦方向/横方向のブレ、ホイールのディッシュ、ベアリングの隙間、ベアリングの滑りに問題がないか確認してください。上記に関し問題が見られた場合、修理は必ずプロの自転車整備士に依頼してください。

- ・ カーボンブレーキ面を目視点検し、柔らかい布で表面を拭きまします。リムに陥没や溝、カーボンファイバーの複数層にわたる摩耗が見られる場合は、ライディングを開始する前にエンヴィカスタマーサービスにお問い合わせください。ブレーキ面に怪我の原因となるような突出部がないことを確認した上で、ブレーキ面に指を置かず。ブレーキ面を触ってみて隆起や感触にムラがなければ、点検はこれで完了です。リムの点検中に損傷や疑わしい摩耗を発見した場合は、ライディングを開始する前にエンヴィ販売店に連絡し指示を仰いでください。

- ・ 年に1度、懐中電灯を使ってリム内部のニップルが腐食していないかどうか点検してください。
- ・ リムの点検中に損傷や疑わしい摩耗を発見した場合は、ライディングを開始する前にエンヴィ販売店に連絡し指示を仰いでください。

製品についてのお問い合わせ

ENVE正規輸入販売代理店

ダイアテック株式会社 お客様サポート室

〒603-8035 京都市北区上賀茂朝露ヶ原町10-19
TEL 075-702-7766 (平日10:00~17:00)

<http://www.diatechproducts.com/support/index.html>

diatec Ltd.